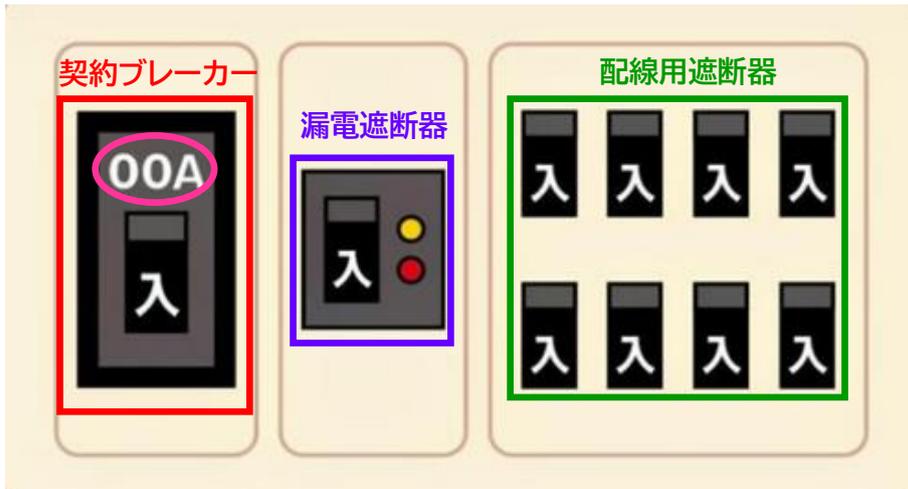


■分電盤を見よう【しくみ編】

～もしもの時に備えて、あなたの家の分電盤の場所やしくみを確認してみましょう～

■分電盤とは？

家に送られてきた電気は、それぞれの部屋へいくつもの通路(回路)に分けられます。分電盤は、電気の分配、使いすぎや漏電で事故にならないように、家庭で使う電気をチェックする大切な役目をしています。



■分電盤のしくみ

契約ブレーカー

電気事業者との契約により、家庭ごとに電気の流れる量が決まっています。契約している量より多く流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。

※上の図の「00A」には30A、50Aなどのように契約されているA(アンペア)が表示されています

漏電遮断器

配線の破損や老朽化または電気製品の故障など、電気が正しく流れていないときに自動的に電気を止めて感電事故や火災を防ぎます。雷によって止まることもあります。一般的な漏電遮断器には、漏電が発生して電気を止めたときに飛び出すボタン(上図では黄色表示)と正しく働くかどうかチェックするテストボタン(上図では赤色ボタン)がついています。

配線用遮断器

安全に流せる電気の量には限りがあるため、各部屋などに分けて配線しています。それぞれの配線の安全を守るのが配線用遮断器です。どのブレーカーが落ちると、どの部屋の電気が来なくなるのかを知っておくと便利です。